

令和6年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	総務課担当課長 松本 広	
総務-04	公平委員会事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員
意図	職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障するため。
効果	公正な労使関係を維持する。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>公平委員会を開催した。</li> <li>全国公平委員会連合会等の関係機関との調整業務を行った。</li> </ul>
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	公平委員会事務	公平委員会委員報酬、負担金の支出等		/			
				266 /	446	464	
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	266 /	446	446	
事業費の合計(千円)				266 /	446	446	
人件費(千円)					5,317	4,676	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	0.5	0.3	0.7	0.6	
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	公平委員会事務	数値化に適した目標が設定できないため。	職員の利益の保護と公正な人事権の行使を保障することに努め、適切な行財政運営の実施に寄与した。	公正・迅速な対応が求められるため、確実な事務執行体制の確保が必要。

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	
			協働実施済の場合のパートナー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止

事業費については、報酬等必要経費のみ予算計上しているため、削減余地はない。  
法律で設置を義務付けられた制度であり、今後も適切に運営を行っていく。

**【参考】**

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--